

# 令和7(2025)年度のEPO業務 実施報告資料

2026年2月19日

第2回 EPO中部・中部地方ESD活動支援センター運営委員会

## a. 地域循環共生圏づくり支援体制構築事業 (以下、**共生圏事業**)の選定団体への支援

「中間支援」  
を重視

### 共生圏事業に選定されている団体(3地域6団体)

※①:中間支援主体、②:活動団体

- PF丹南:①ローカルSDクリエイション、②エコ・グリーンツーリズム水の里しらやま
- PF長野:①長野県NPOセンター、②芋井地区住民自治協議会
- PF半田:①半田市、②半田市地域循環共生圏推進協議会

【団体への支援に加えて】

11月に中間共有会(取組状況の中間報告)をEPO主催で愛知県半田市で開催

**昨年度・今年度(2カ年度間で)団体が取り組むこと**

ローカルSDGs事業(地域課題解決・地域資源活用)やそれに取り組むプラットフォームの構築、地域の未来像の共有など

EPOは  
伴走支援

**次年度・3年度目に団体が目指すこと**

ローカルSDGs事業の事業化・事業展開、その創発が可能となるプラットフォーム発足、中間支援の横展開など

## b. 自治体・協働コーディネーターとの連携による 中部独自の共生圏づくり／ローカルSDGs実践支援

- 地域循環共生圏づくり支援セミナー2025の開催
  - 昨年度は「地域循環共生圏とはなにか」、今年度は「中間支援」をテーマに開催。次年度は総括編の位置づけとなるセミナーを開催予定
- 富山県上市町で協働コーディネーターの協力による、ローカルSDGsの実践を支援、及び、ローカルSDGsをテーマにした地域循環共生圏フォーラムを開催
  - 2名の協働コーディネーターが協力…(株)ティー・ツリー・コミュニケーションズ・茶木氏、PECとやま・堺氏
- ローカルSDGs実践事例集(協働コーディネーター／中間支援主体の取組事例集)コンテンツの作成・公開
- 協働コーディネーター意見交換会の実施
  - 地域活動における課題感の共有、協働コーディネーターの発掘・追加が主題に
- 地域循環共生圏づくりの活動評価手法の検討:有識者による検討ワーキング(WKG)の実施(3回)
  - 検討結果をa)・b)の団体／取組へフィードバック、成果冊子とりまとめ

# 主催イベント・会合等業務

# 2025年度EPO中部主催イベント／会合

※②③...仕様書項目上の「自治体・協働コーディネーターとの連携によるフォーラム等開催(計2回)」に該当

区分	エリア	設営	時期	参加者数	テーマ／内容等	連携先／関係者／登壇者等
①中間支援セミナー	—	オンライン配信 登壇者: 会場集合	12月 5日	オンライン 25件	地域循環共生圏づくり支援セミナー 「ローカルSDGsの実践とその中間支援 ～地域循環共生圏づくりで必要なこと・大切なこと～」	<ul style="list-style-type: none"> <li>活動主体…長野県NPOセンター</li> <li>有識者…早稲田大学・島岡先生、有識者WKGメンバー(下記④より) など</li> </ul>
②共生圏づくり支援	富山県 上市町	リアル	12月 6日	20人	地域循環共生圏フォーラムin上市町 「地域課題を地域資源にするローカルSDGsの共創へ」	<ul style="list-style-type: none"> <li>協働コーディネーター／中間支援…PECとやま・堺氏</li> <li>先進事例紹介…NTG代表・松田氏</li> <li>昨年度フォーラムで提案されたローカルSDGsアイデアの試行実践報告…ネットラジオ「カミラジ!」局長・高井氏</li> </ul>
③ローカルSDGs事例集	—	オンライン登壇	3月 11日 予定	—	中部エリアの地域循環共生圏づくりの事例・取組主体を紹介2025(オンライン配信)／ローカルSDGsの実践や支援に取り組む協働コーディネーター紹介	<ul style="list-style-type: none"> <li>協働コーディネーターの取組事例集を6年ぶりに刷新、動画で公開予定</li> <li>今年度から次年度にかけて事例集コンテンツを作成・公開⇒ウェブサイトに専用コーナーも新設予定</li> </ul>
④協働コーディネーター意見交換会	会場:名古屋市内	リアル	9月 3日	9名	地域活動主体の課題、中間支援のあり方・ヨコ展開の可能性	<ul style="list-style-type: none"> <li>協働コーディネーター8+新追加1名</li> <li>さらに新たに推薦されたコーディネーター1名(欠席のため)を会合の中で紹介</li> </ul>
⑤活動評価手法検討WKG(全3回)	名古屋	リアル	6月 2日	3名	「6つの資本」など活動評価に関するR6成果の検証とバージョンアップ	<ul style="list-style-type: none"> <li>メンバー(継続): <ul style="list-style-type: none"> <li>古澤礼太 中部大学国際ESD・SDGsセンター長 教授、中部ESD拠点協議会事務局長</li> <li>水上聡子 EPO中部運営委員、アルマス・バイオコスモス研究所代表</li> <li>堺 勇人 EPO中部運営委員、一般社団法人 環境市民プラットフォームとやま(PECとやま)事務局長</li> </ul> </li> </ul>
	富山		7月 23日		中間支援に関する評価手法の検討と活動評価との連携	
	名古屋		12月 4日		とりまとめ方針の検討、事例検証方法についての検討	
⑥共生圏事業中間共有会	愛知県 半田市	リアル	11月 13日- 14日	26名	<ul style="list-style-type: none"> <li>中間共有会</li> <li>視察エクスカージョン</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ホスト:半田市、半田市地域循環共生圏推進協議会</li> <li>出席:地域循環共生圏づくり支援体制構築事業の中部エリア選定団体、関係者</li> <li>視察先:ビオクラ、協力農家 など</li> </ul>

# ①地域循環共生圏づくり支援セミナー（2025年度：中間支援編）

● 12月5日に「地域循環共生圏づくり支援セミナー2025」を開催・配信。zoom参加・YouTube自由視聴合わせて32人視聴（2025年12月末現在）。

● 早稲田大学教授・島岡未来子先生、共生圏事業の中間支援主体・長野県NPOセンター吉田氏による講演のほか、登壇講師と④活動評価手法検討WKGメンバーによるトークセッションを実施。

● 録画をアーカイブ公開中。  
<https://www.epo-chubu.jp/epo-news/34087.html>  
 トークセッションは冊子としてとりまとめ（作成中）。

2024年度の《地域循環共生圏づくり入門編》、今年度の《中間支援編》を開催。次年度は《総括編》としての開催を予定。

3カ年度の動画・冊子を、取組主体に活用してもらうツールとして公開。

「地域循環共生圏」についてもっと知りたい

地域循環共生圏を知ろう  
…ウェブサイト「環境省ローカルSDGs-地域循環共生圏」にリンク

地域循環共生圏づくり支援セミナー2024動画  
**テーマ：地域循環共生圏づくりとは**  
…EPO中部主催・2025年1月開催セミナーのYouTube動画



地域循環共生圏づくり支援セミナー2024トークセッションまとめ冊子  
…EPO中部主催・2025年1月開催セミナーのトークセッションをまとめた冊子

地域循環共生圏づくり支援セミナー2025動画  
**テーマ：地域循環共生圏づくりにおける中間支援**  
…EPO中部主催・2025年12月開催セミナーのYouTube動画



地域循環共生圏づくり支援セミナー2025トークセッションまとめ冊子  
…作成中

地域循環共生圏づくり支援セミナー 2025

## ローカル SDGs の実践とその中間支援 ～地域循環共生圏づくりに必要なこと・大切なこと～

ライブ配信：2025年 12月 5日（金） 13：45～（16：15 頃終了）

- YouTube 配信を自由に視聴できます。  
 →EPO 中部ウェブサイトから視聴  
<http://www.epo-chubu.jp> EPO 中部 検索
- ライブ配信終了後もアーカイブ配信します。
- 前回セミナー 2024 も公開中です。

- 質問等されたい方は zoom 参加が可能です。  
 →zoom 参加登録：  
<https://us02web.zoom.us/join/6AgLYDkkQEXFJKHcsRWdQ>  
※EPO 中部ウェブサイトからも登録可能です。  
 ※登録すると @zoom.us または @epo-chubu.jp  
 アドレスから招待メールが届きます。





1. 【ご挨拶／はじめに】 環境省の地域循環共生圏事業と中間支援  
環境省中部地方環境事務所環境対策課
2. 【基調講演】 地域循環共生圏づくりにおける中間支援とは  
島岡 未来子 氏（早稲田大学リサーチ・イノベーション・センター教授 / 神奈川県立保健福祉大学ヘルスイノベーション研究科 教授）
3. 【取組紹介】 地域の財産“情報”を活かす中間支援の取組  
吉田 喜美夫 氏（認定特定非営利活動法人長野県 NPO センター コーディネーター）
4. 【トークセッション】 地域循環共生圏づくりに必要とされている中間支援とは  
パネリスト： 島岡 未来子 氏（早稲田大学リサーチ・イノベーション・センター教授 / 神奈川県立保健福祉大学ヘルスイノベーション研究科 教授）  
吉田 喜美夫 氏（認定特定非営利活動法人長野県 NPO センター コーディネーター）  
堺 勇人 氏（一般社団法人環境市民プラットフォームとやま 常務理事/事務局長）  
水上 聡子 氏（アルマス・バイオコスモス研究所代表）  
コーディネーター：原 理史（EPO 中部）

主催：環境省中部環境パートナーシップオフィス



## ② 共生圏づくり支援：富山県上市町におけるローカルSDGs展開支援

地域循環共生圏フォーラム in 富山県上市町 2025

### 地域課題を地域資源にする ローカルSDGsの共創へ

2024年度から続いて第3回目となる地域循環共生圏フォーラム in 富山県上市町を今年度も開催します。前回提案いただいた地域課題解決型ローカルSDGsのアイデア「放置柿の活用；かみいち柿取物語」の実践報告や、ローカルSDGs共創ディスカッションを行います。お初の方もどなたも、お気軽にご参加ください。

開催日時：2025年12月6日（土）13:30～（16:00 終了）

会場：上市町まちなか交流プラザ 4階・カミールホール

富山県上市町西中町11 <http://www.comeal.com/access/>

参加方法：下記URLまたはQRコードの申込フォーム、EPO中部ウェブサイトからどうぞ。

申込フォーム <https://forms.gle/QP73nZl7p6kCGVPr9>



EPO中部 検索



1. ごあいさつ：地域循環共生圏とローカルSDGs  
環境省中部地方環境事務所
2. はじめに：昨年度開催したフォーラムをふりかえって  
堺 勇人さん（一般社団法人環境市民プラットフォームとやま 常務理事／事務局長）
3. 先進事例の紹介：クラフトジンで能登の魅力発信  
松田 行正さん（NTG 代表）
4. 実践報告：放置された柿の活用  
高井 昭博さん（かみいち柿取物語 代表／カミイチラジオ「カミラジ！」 局長）
5. ディスカッション：上市ローカルSDGs共創ワークショップ  
ファシリテーター：EPO 中部
6. 終わりにあたり／これらに向けて

主催：環境省中部環境パートナーシップオフィス

協力（EPO中部・協働コーディネーター）：

株式会社ディー・ツリー・コミュニケーションズ、一般社団法人環境市民プラットフォームとやま（PEC とやま）



- 12月6日に地域循環共生圏フォーラムin富山県上市町2025を昨年度に続き、第3回目を開催。
- 「かみいち柿取物語」プロジェクトリーダーである高井氏が、柿の収穫体験イベントの実施報告、今後の計画などを発表。
- 昨年度から中間支援の立場で、協働コーディネーターのPECとやま・堺氏が協力。また、本フォーラムでも総合司会、昨年度までの振り返りで登壇。
- そのほか、ローカルSDGs実践の先進事例として、能登で放置されていた柚子を活用したクラフトジンづくりに取り組むNTG代表・松田氏が講演。
- 後半ディスカッションでは、上市におけるローカルSDGsのアイデアやその実現・実践に必要な共創、情報、仕組み、支援は何かを登壇者・参加者で話し合った。



# 参考) 富山県上市町におけるローカルSDGs展開支援の背景・経緯

## 2024度に「地域循環共生圏フォーラムin上市町」(全2回)を開催

- ・ 協働コーディネーターの堺氏と茶木氏が企画、登壇、ファシリテーターとして協力
- ・ 第1回フォーラムのワークショップで地域課題解決/地域資源活用のローカルSDGsアイデアの提案
- ・ 第2回フォーラムでローカルSDGsアイデアの発表と実現に向けたディスカッション

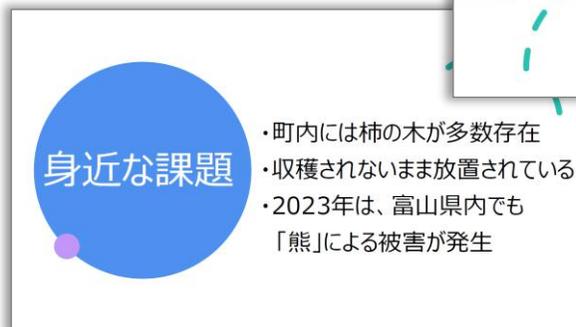
### フォーラム参加者から提案があった4つのアイデア

- 放置された柿の活用
- KAMIICHIハーブティーストーリー ～健康で美しく～
- ヘチマ×和スタイル＝ヘチ和(ヘチ和スタイル)
- 放置竹林対策(竹の資源化と循環型農業を目指して)



### 今年度 「放置された柿の活用」の試行実施

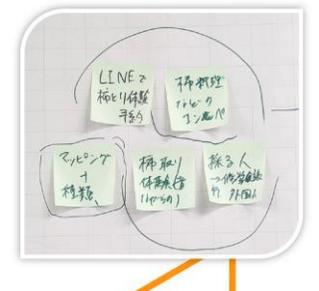
- 10月24日に、堺氏(PECとやま)が事務局を務めたJICA研修プログラム参加者(3カ国6名)や上市町住民(飛び入り参加)が参加して、柿の収穫体験イベントを試行的に実施。
- プロジェクト名「かみいち柿取物語」として、有志で取組が進められる予定。
- プロジェクトに対し、協働コーディネーター・堺氏による中間支援を、同・茶木氏(特産品の開発・販売の経営者)による共創を期待。



昨年度フォーラム第2回での発表資料より(アイデア①の資料)

#### 取り組み

- ・ 地域との連携
- ・ 人の流れをつくる



2025年10月にJICA研修生や地域住民が参加する柿の収穫体験イベントを試行





## ④協働コーディネーター意見交換会

- 9月3日に、EPO中部・協働コーディネーター9名が集まり、意見交換会を開催。うち1名は、新しく協働コーディネーターに加わった方で、ほかのもう1名の推薦のあった新コーディネーター(今回の会合には参加できず)の紹介が行われた。
- 会合で、各コーディネーターによる取組の近況報告や、共生圏事業の中間支援を行っている協働コーディネーターが事業での取組紹介も行った。
- 意見交換では、行政との連携における課題感について多くの意見が提示された。



	プログラム	時間	内容 協働コーディネーターからの報告など
1	近況報告／新しい協働コーディネーターさんの紹介	40分 (3-5分 ×8人)	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 【全員】活動の近況報告など</li> <li>● 新しい協働コーディネーターさんのご紹介：谷崎さん</li> </ul>
2	《話題提供1》 中部地方環境事務所からの情報提供・共有等	15分	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 環境省施策・事業の紹介</li> <li>● 地域循環共生圏づくりにおける中間支援主体への期待 など</li> </ul>
3	《話題提供2》 協働コーディネーターと環境省(及びEPO)との関連事例 地域循環共生圏事業ほか、環境省及びEPO関連事業等の紹介	25分 (5分 ×5人)	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 【三田村さん・吉田さん】地域循環共生圏事業による中間支援主体としての取組紹介</li> <li>● 【寺田さん】「令和の里海づくり」モデル事業(2024)による取組の紹介</li> <li>● 【塚さん・茶木さん】地域循環共生圏フォーラムin上市(2024)と今年度の企画</li> </ul>
4	《話題提供3》 EPO中部からお知らせ等	10分	<ul style="list-style-type: none"> <li>● EPO中部主催イベントのお知らせ、地域循環共生圏づくり支援セミナー、活動評価検討 など</li> </ul>
	休憩	10分	
5	上記1~4への 質問タイム & 意見交換	80分 ※残りの 時間で	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 地域活動における課題感、課題解決方法、支援ニーズ</li> <li>● 中間支援(中間支援機能)のあり方</li> <li>● 新しい協働コーディネーターの候補・推薦</li> </ul>
終了後 16:15～ 事務局は撤収作業、その間、協働コーディネーターの皆さんは意見交換の続きのフリースペース 16:45頃 懇親会会場へ移動			

## 行政との連携、中間支援のあり方に関する課題に関する意見

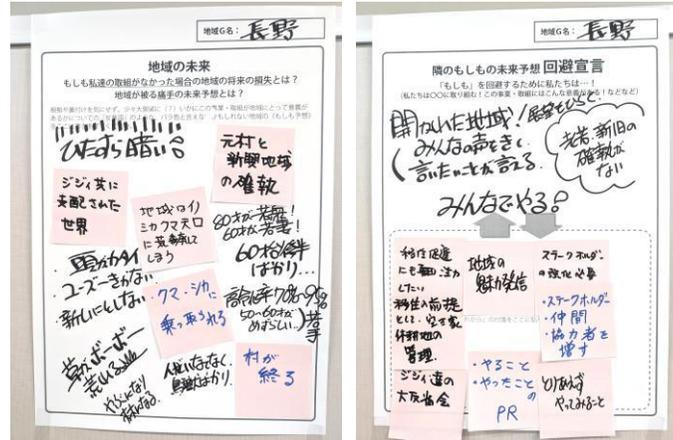
- 多くの自治体において、職員は業務過多で、若手職員は現場経験や知識が不足しており、地域課題解決に対するビジョンを持ってない状況がうかがえる。また、行政側担当者が変わるたびに過去の積み上げがリセットされ、活動がゼロベースに戻ってしまうことが多い。
- 行政内同士や、他地域行政機関との連携が不十分であり、施策が進められる際に市民活動団体への相談や根回しがなされないこともある。
- 行政職員の中から、新しい価値観や活動に対する「感度のよい人」を見極めて進めることも重要となる。
- 行政が中間支援の役割を外部化する際、その価値を適切に評価し、コンサルタントと同等の予算や権限での委託が必要である。地域の取組に関するノウハウは、外部のコンサルタントではなく、地域の中に蓄積されるべきである。

## 事業者との連携、非経済的価値の評価の必要性に関する意見

- 企業評価では、財務評価だけでなく、SDGsや環境への取組等の非財務情報(非市場的価値)でも評価されつつある。単なるCSRでなく、本業維持と資金調達のために地域貢献等に取り組む潮流がみられる。また、地域金融機関は企業の経営状況や関心事項の「情報集積地」であり、企業の非財務情報の格付けも行っている。地域金融機関を通じて、環境に関心を持つ企業を巻き込み、企業と本業レベルで地域活動との連携を構築することが有効となる。
- 地域資源を活用した活動(例:アブラギリの活用等)は、量産化やコスト面で安価な外国産などの競合相手に勝つことは難しい。競争に勝つためには、社会的価値(例:トレーサビリティ、ストーリー性)や環境的価値(例:若狭湾の環境改善)といった非経済的な側面で差別化を図ることも重要である。

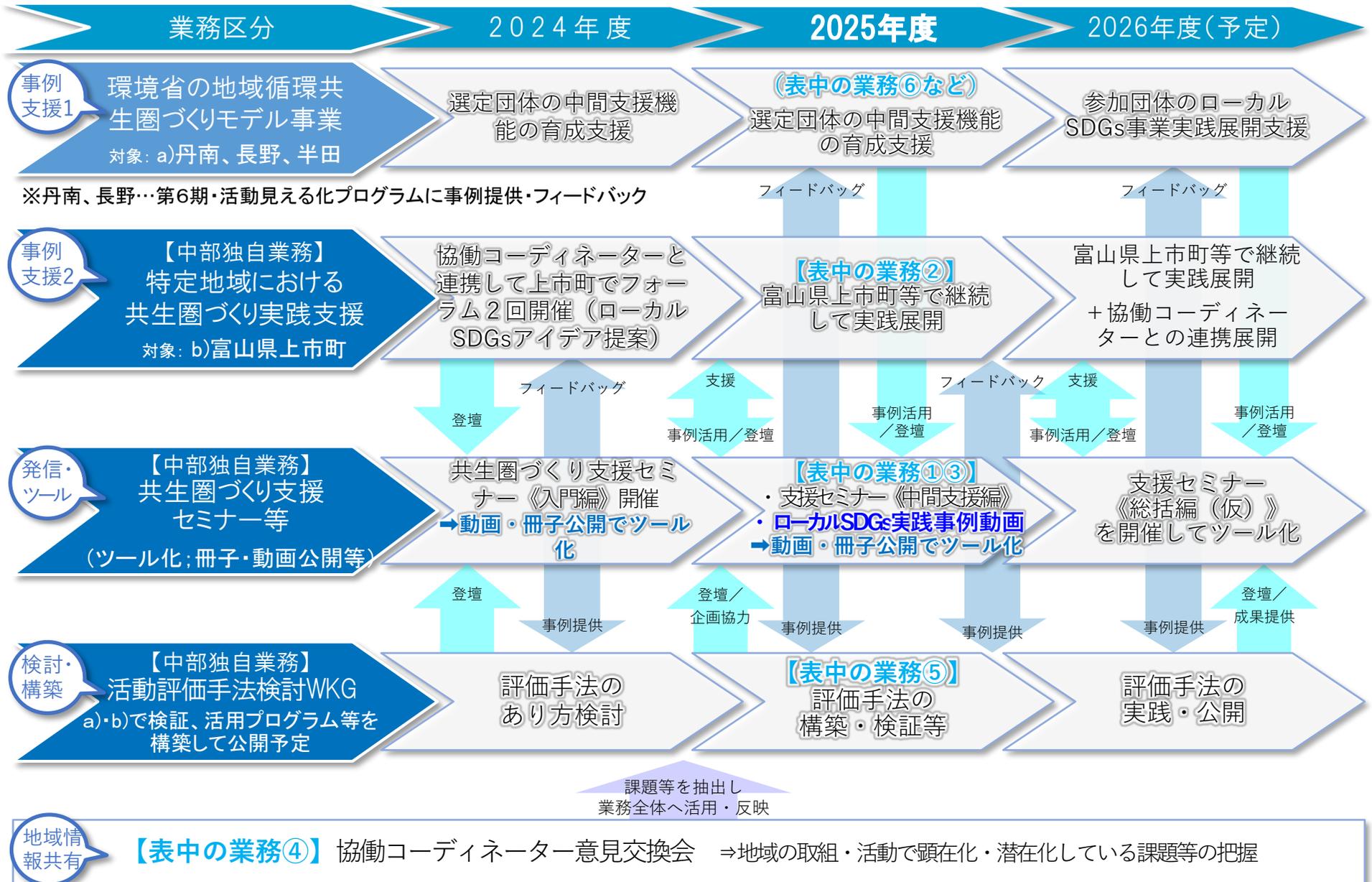
# ⑥地域循環共生圏事業選定団体への支援：中間共有会

- 11月13-14日に、地域循環共生圏事業の中部ブロック中間共有会を愛知県半田市で開催。3地域6団体等26名が出席。
- 3地域6団体による取組報告のほか、「(なりたい地域の未来像ではなく)なりたくない地域の未来予想図とその回避宣言を考える」、「私たちの活動、或いは地域循環共生圏事業が地域にもたらすものとは？」をテーマにディスカッションを実施。
- 2日目は視察エクスカーションとして、半田市地域循環共生圏推進協議会の関係施設等を見学。



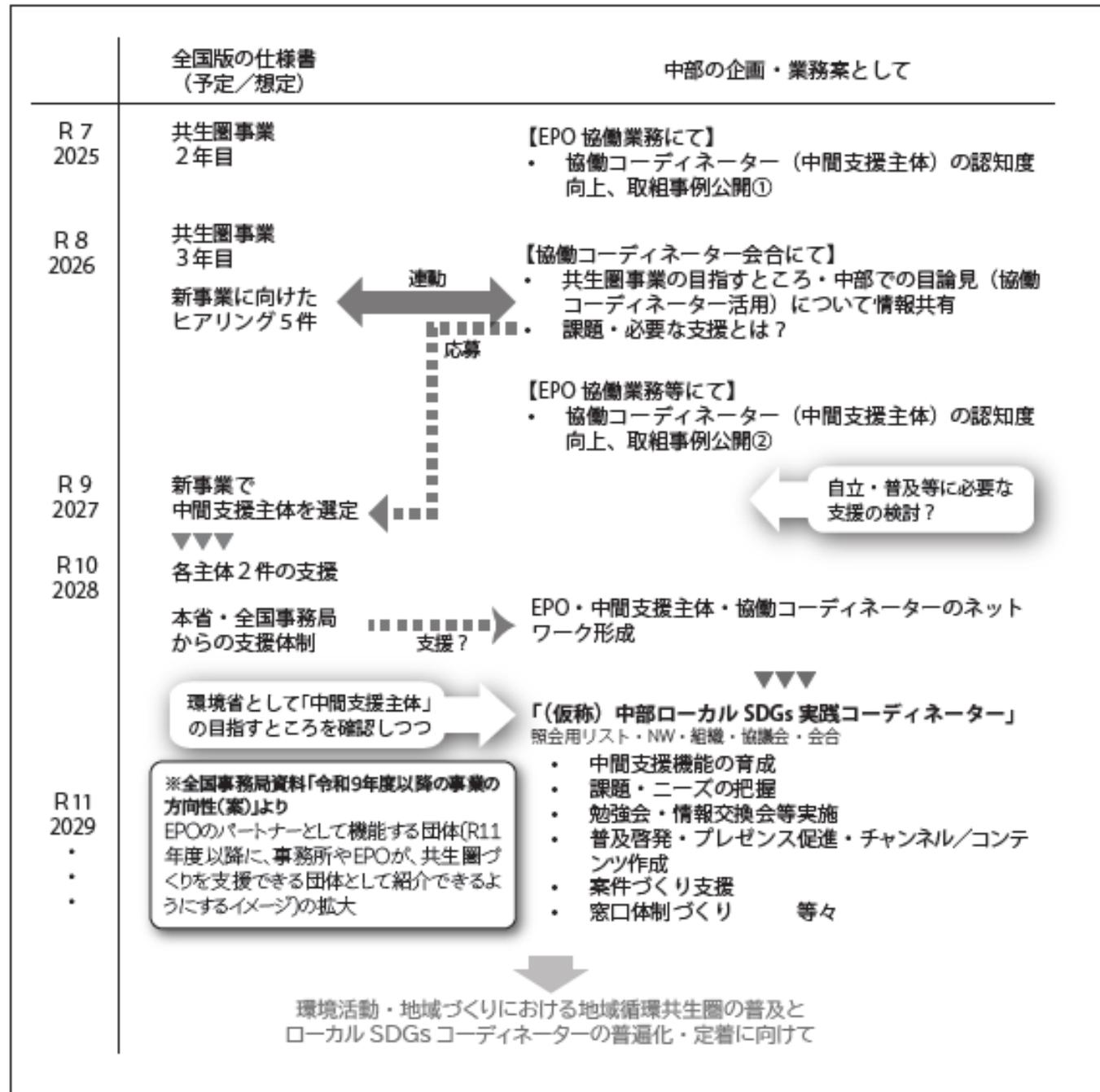
# 第7期3年間でのEPO業務連関展開

(2025年4月時点想定)



# 共生圏事業における「中間支援」のヨコ展開 = 「協働コーディネーター」の活躍・活用

- 共生圏事業は次年度・2026年度で終了。
- 2027年度以降も「中間支援」による地域循環共生圏づくり促進を目指す事業展開が検討されている。
- 多様なSHと連携した地域活動をコーディネートしてきた協働コーディネーターは、既に中間支援に等しい取組の実績を有している。
- 中部では既に「EPO中部・協働コーディネーターが活躍している」ことを改めて発信する必要がある。
- 今～来年度にかけて、「③ローカルSDGs実践事例集(協働コーディネーター取組事例集)」を作成・公開



その他事務所連携企画イベント・会合等業務

# その他の中部事務所企画・連携等による連携イベント／会合

※参加者数：環境省・EPO除く

区分	エリア	設営	時期	参加※	テーマ／内容等	連携先／関係者／登壇者等
⑦グリーン社会実現に向けたステークホルダー連携促進業務	—	ヒアリング	6月～9月	対象 8名	過去の事例を踏まえて、俯瞰的に共進化を捉えて／地方行政と市民の関わり、合意形成の視座から／市民として、生活者としての視座から／企業活動、地域づくりにおける行動合理性の視座から	<ul style="list-style-type: none"> <li>8名の学識者にヒアリングを実施</li> </ul>
	愛知県名古屋市	リアル	11月17日	8人 closed	まちなかでの持続可能な地域づくりをテーマにした交流と意見交換	<ul style="list-style-type: none"> <li>6名の学識者、活動主体が出席して意見交換を実施</li> </ul>
	長野県長野市	リアル	12月15日	8人 Closed	さとやまでの持続可能な地域づくりをテーマにした交流と意見交換	<ul style="list-style-type: none"> <li>6名の学識者、活動主体が出席して意見交換を実施</li> </ul>
	中部	ハイブリッド	3月3日 予定	実施 予定	中部共進化フォーラム～Wellbeingを体感できる地域循環共生圏を目指してオープン(中部共進化促進フォーラム)	<ul style="list-style-type: none"> <li>これまでにヒアリング、登壇者による取組紹介、パネルディスカッションを実施予定</li> </ul>
⑧自然資本の活用に関する意見交換会等	愛知県名古屋市	出展	10月3日-4日	— (WS 10名)	SDGs愛知エキスポの中部事務所出展ブースの運営(2日間)	<ul style="list-style-type: none"> <li>ブース内で、パネル14点を作成して展示、生きものクイズ</li> <li>ワークショップ「ヨシストローをつくろう！ヨシ刈り継続でネイチャーポジティブもヨシ！」</li> </ul>
	石川県金沢市	リアル	2月23日 予定	実施 予定	はくさん大発見！～白山の自然や動物を見て・さわって・学んで、自分だけの白山づくり体験～	<ul style="list-style-type: none"> <li>子ども向けイベントとして石川県立図書館で開催</li> <li>白山の概説、クイズ、生きもののハンズオン展示</li> <li>WS「自分だけのミニ白山をつくってみよう！」を実施</li> </ul>
⑨白書を読む会	愛知県名古屋市	ハイブリッド	10月22日	会場10 zoom 10	令和7年版 環境白書を読む会	<ul style="list-style-type: none"> <li>企画：中部地方環境事務所</li> <li>白書概説…本省総合政策課等登壇</li> <li>中部地方の施策・取組の紹介…中部地方環境事務所登壇</li> </ul>

## ⑦グリーン社会実現に向けたステークホルダー連携促進業務

中部共進化座談会中間とりまとめ(案)～中部からの提案:地域から始める「共進化」(2025年6月)

【2025年3月開催座談会より作成されたコンセプトペーパー】

中部共進化座談会、環境省中部地方環境事務所、環境省中部環境パートナーシップオフィス(EPO中部)

- 環境危機・人口減少が進む中、地域から持続可能な社会への転換が求められている
- 中部は、産業公害克服や多様な主体の取組により、環境を軸とした地域づくりの蓄積を有する
- 本提案は、「地域循環共生圏」と「共進化」を統合した「地域×共進化」プロセスを提示  
自然資本と人材を生かし、活動の自立化・多様化・定着を段階的に促進
- 支援の方向性
  - ① 市民社会の成熟、② 市場・ビジネス活用、③ 知識・技術イノベーション
- 世代を超えた担い手の対話を通じ、中部から新たな地域モデルを発信



R7年6月  
～9月

地域共進化ヒアリング・意見交換(コンセプト確認・共進事例の検証)

11月

関係者による交流会 開催地:愛知県名古屋市 まちなか  
(仕組みの検討とネットワーク化)

12月

関係者による交流会 開催地:長野県長野市 さとやま  
(仕組みの検討とネットワーク化)

R8年3月

中部共進化フォーラム～Wellbeingを体感できる地域循環共生圏を目指して  
オープン(中部共進化促進フォーラム)

# 地域共進化ヒアリング・意見交換（2025年6月～9月）

- 福井弘道教授・古澤礼太教授（2025年6月25日）

人口減少や国際情勢の変化により地域力の低下が懸念される中、人づくりを核とした共進化が重要と指摘。自然資本を基盤に、保全と活用の価値を可視化し、社会・自然を横断する「大きな共進化」をエビデンスに基づき推進すべきとした。
- 松田直己部長（2025年6月30日）

共進化は価値観の違いを越えて主体が変化するプロセスであり、葛藤や対話自体が学びの場であると整理。ESDによる人の変容が社会変化につながり、成果の記録・評価と中間支援人材の存在が持続性の鍵と述べた。
- 杉山範子教授（2025年8月11日）

共進化は多主体が刺激し合い高め合う過程であり、世界首長誓約にその実例を見ると指摘。個人から地球規模まで多層的に連動する仕組みと、気候変動対策を基盤とした自治体主導の共進化推進体制の必要性を強調。
- 高野雅夫教授（2025年8月27日）

ネットゼロとネイチャーポジティブの両立という矛盾を提示し、制度横断的連携の重要性を指摘。関係人口の参画、人材継承を支える仕組みと、行政を補完する「第二の役所機能」を持つプラットフォームの必要性を指摘。
- 鵜飼宏成教授（2025年8月27日）

地域共進化にはクワトロヘリックス型の協働が不可欠で、大学の実践的関与と課題解決型プラットフォームが重要と指摘。成熟した市民社会の形成やリカレント教育、市民起業家の育成が前提条件とされた。
- 森下英治教授・林希一郎教授（2025年9月19日）

自治体では環境課題の内在化が不十分とし、自然資本の価値を意識化する必要性を指摘。共進化の概念を具体化するには、便益と負担の可視化と、将来世代を見据えた統合的意思決定が重要と指摘。

# 関係者による交流会 まちなか（2025年11月）

## 地域から始める「共進化」まちなかローカルSDGs交流会

日時：2025年11月27日（木）13:30～16:30

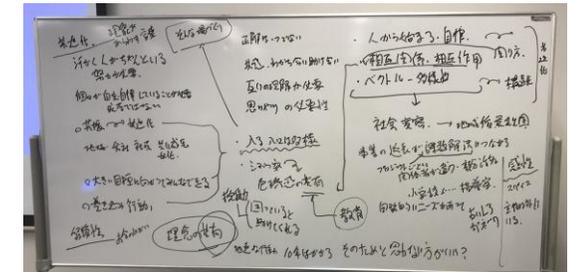
場所：名古屋駅前 ウィンクあいち 1109会議室

- (1) オープニング/主旨説明 地域から始める共進化の意義(20分)
- (2) 話題提供1 まちなかにおける共進化の可能性と広がり(30分)
  - ・名古屋市立大学大学院経済学研究科・経済学部教授 鵜飼宏成
- (3) 話題提供2 現場からの声：暮らし・なりわい・まちづくりの挑戦(5件)

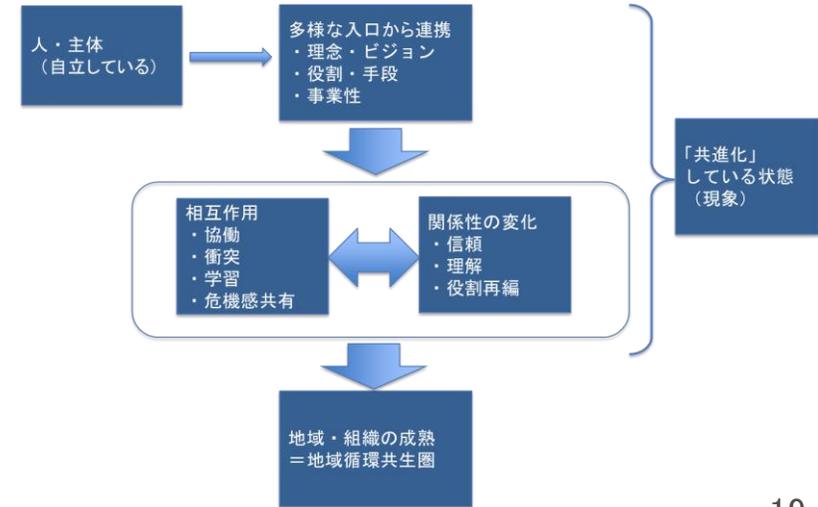
### <話題提供・交流メンバー>

- ・錦二丁目エリアマネジメント(株) 代表取締役 CEO 名畑 恵
- ・NPO法人志民連いちのみや 代表 星野 博
- ・株式会社マルワ 代表取締役 鳥原 久資
- ・株式会社おとうふ工房いしかわ 社長室 石川麻利江（お友達：トーエイ(株)今津様）
- ・株式会社鈴六 代表取締役 鈴木和人

- (4) ディスカッション「実践者のつながり・共進化でWellbeingな地域をどう育むか」



**【ディスカッション要旨】**  
「共進化(共振による集積)」は特定の施策や手法ではなく、人を起点とした関係性の中で生じる状態・現象であるとの認識が共有された。共進化には主体の自立が前提となり、理念や大きな目標への共感から関わる場合だけでなく、具体的な役割や手段から参画し、結果的に共感に至る多様な関わり方が存在する。危機感の共有や衝突、理念の浸透には長期的な時間を要し、短期的な成果や効率性とは相容れない側面を持つ。一方で、事業性や経済的合理性と結びつくことで参画主体が広がる可能性も示された。共進化とは、課題ごとに異なる主体が関わり合いながら地域や組織が成熟していく過程を捉えた概念である。



# 関係者による交流会 さとやま（2025年12月）

## 地域から始める「共進化」さとやまローカルSDGs交流会

日時：2025年12月15日（月）13:30～16:30

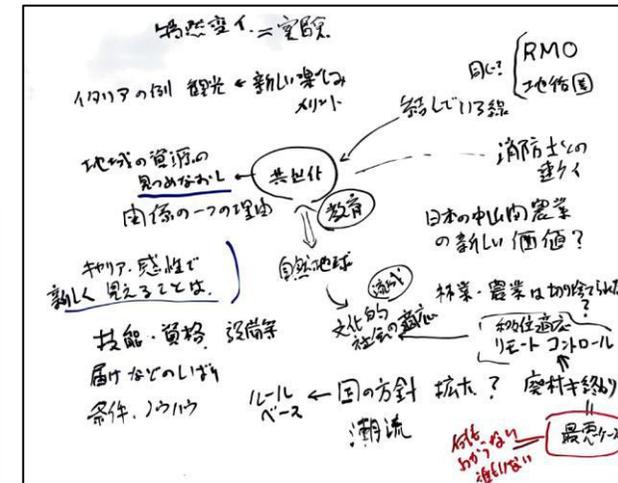
場所：長野市生涯学習センター第3教室

- (1) オープニング/主旨説明 地域から始める共進化の意義(20分)
- (2) 話題提供1 さとやまにおける共進化の可能性と広がり(30分)
  - ・名古屋大学 附属持続的共発展教育研究センター教授 高野雅夫
- (3) 話題提供2 現場からの声：暮らし・なりわい・さとづくりの挑戦(5件)

### <話題提供・交流メンバー>

- ・長野県NPOセンター コーディネーター 吉田喜美夫
- ・芋井地区住民自治協議会 地域活性化推進員 岸 豊
- ・NPO法人フォレスト工房もくり副理事長 フォレストデザイン代表 余頃友康
- ・一般社団法人 自然エネルギー共同設置推進機構(NECO) 浅輪剛博
- ・WACおばま NPO法人WACおばま理事 NPO法人若狭くらしに水舎代表理事 中嶋阿児

- (4) ディスカッション「実践者のつながり・共進化でWellbeingな地域をどう育むか」



**【ディスカッション要旨】**  
地域共進化が「目標」や「手法」ではなく、多様な主体が実験的に関わり合う中で結果として現れる状態・現象である点が共有された。限界集落や人口減少を前提に、居住にこだわらず「通う」「関係を保つ」ことで地域を維持する事例、アブラギリ・薪利用・里山林業など地域資源の再発見が、人や活動呼び込む契機となることが示された。一方で、技能・資格・法制度・所有権の不明確さなどが共進化の阻害要因として挙げられた。重要なのは、失敗を含む試行錯誤を受け入れる社会的土壌と、自然・生態系を含めたウェルビーイングの視点、流域単位での連携と学びを支える制度的基盤であるとの認識が共有された。

# 「共進化」フォーラム（2026年3月）

## 中部共進化フォーラム～Wellbeingを体感できる地域循環共生圏を目指して

日時：2026年3月3日（火）13:00～16:30（休憩含め210分）

対象：行政、企業、一般市民、等

場所：ウインクあいち1101会議室 ハイブリッド

あいさつ 中部地方環境事務所 所長 松下雄介（5分）

(1) 主旨説明と経緯説明 地域から始める共進化の意義（15分）

(2) 基調講演（仮）環境基本計画における共進化（30分）

・環境省大臣官房総合政策課環境計画室 室長 黒部 一隆

(3) 話題提供 現場からの声：暮らし・なりわい・地域づくりの挑戦（6件×15分）

・錦二丁目エリアマネジメント(株) 代表取締役 CEO 名畑 恵

・株式会社おとうふ工房いしかわ 社長室 石川麻利江

・NPO法人フォレスト工房もくり副理事長 フォレストデザイン代表 余頃友康

・一般社団法人 自然エネルギー共同設置推進機構（NECO） 浅輪剛博

・福井県坂井市役所 生活環境部 環境推進課長 北川直規

・愛知県大府市役所 市民協働部環境課 環境保全係長 植木 孝

(4) パネルディスカッション「Wellbeingのための共進化とは」（50分）

・環境省大臣官房総合政策課環境計画室 室長 黒部 一隆

・名古屋大学 附属持続的共発展教育研究センター教授 高野雅夫

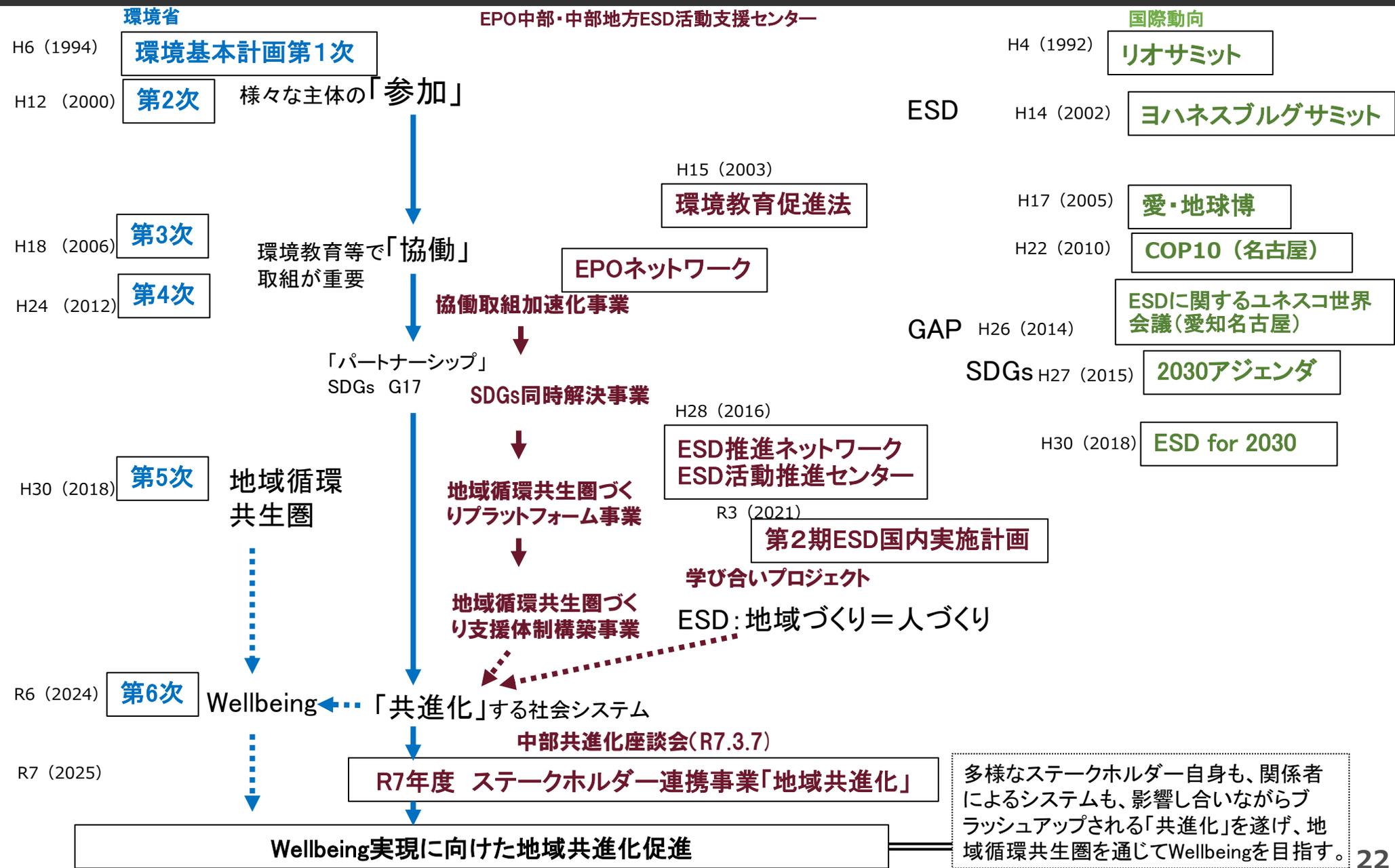
・名古屋市立大学大学院経済学研究科・経済学部教授 鵜飼宏成

・名古屋大学大学院環境学研究科特任教授 東海学園大学教授 杉山範子

コーディネーター 中部環境パートナーシップオフィス 原理史

(5) 講評 中部大学中部高等学術研究所長国際GISセンター長 教授 福井弘道

# 【参考】 EPO中部・中部ESDC視点における環境政策に関わる多様なステークホルダー関係の考え方の変遷



## ⑧身近な自然資本の活用に関する意見交換会等

### SDGs愛知expoの出展ブース運営

- 10月3・4日に、愛知県常滑市で開催されたSDGs愛知expoにて、中部地方環境事務所出展ブースの運営(2日間)とヨシストローづくりワークショップを実施。
- ブース内では、作成したパネル14点や生きものクイズなどを実施したほか、着ぐるみ「だいだらポジー」(アルバイト学生による)を運営。



### はくさん大発見！～白山の自然や動物を見て・さわって・学んで、自分だけの白山づくり体験～を開催

- 2月23日に、石川県金沢市の石川県立図書館で、白山国立公園の認知度・親しみ向上を目指し、子ども向けイベント「はくさん大発見！～白山の自然や動物を見て・さわって・学んで、自分だけの白山づくり体験～」を開催。
- 白山についての解説のほか、クイズ、ハンズオン展示のほか、ペーパークラフト・ワークショップ「自分だけのミニ白山をつくってみよう！」を実施予定。

**はくさん大発見!**

参加者募集中!

白山の自然や動物を見て・さわって・学んで  
自分だけの白山づくり体験

と き : 2026年2月23日(月・祝) 13:00～15:00

と ころ : 石川県立図書館 研修室 金沢市小立野2丁目43番1号  
<https://www.library.pref.fukui-ken.jp/tatoyagi/facilityguide/1028.html>

参加申込 : 右のQRコード、下のURLからお申し込みください。  
EPO申請 <https://forms.gle/Q2ZakY2zrhA1v50>

参加者には「白山国立公園オリジナル野帳」「白山マグネット」をプレゼント!

室内であたかく! プログラム 親子で楽しく  
白山の魅力をのぞいてみよう!

1 はじめに 白山国立公園とは?

2 はくさんのひみつをふもとからてっぺんまで!

3 ワークショップ ペーパークラフトで自分だけのミニ白山をつくろう!

4 おわりに どんな白山ができたかな?

クイズもあるよ

主催 : 環境省中部地方環境事務所、中部環境パートナーシップオフィス (EPO 中部)  
問合せ先 (EPO 中部) : 電話 052-218-8605 メール [toiawase@epo-cnubu.jp](mailto:toiawase@epo-cnubu.jp)

## ⑨環境白書を読む会の開催

- 10月22日に、「環境白書を読む会」を名古屋市立大学でハイブリッド開催。会場10人、オンライン10人の計20人が参加。
- 第1部は令和7年度版白書の概説を行う一般公開オンラインセミナーとして開催し、第2部はリアル開催方式で、中部における施策を中部地方環境事務所職員が概説し、会場参加者との質疑応答を行った。



参加無料

令和7年版  
環境白書を読む会

環境白書 24.23

令和7年版環境白書ダウンロード  
<https://www.env.go.jp/policy/whb24/>

持続可能な地域を考える  
～環境白書を手がかりに～

日時 10月22日(水) 16:20-17:10

オンライン開催 (zoom または YouTube 視聴)

プログラム

- 挨拶 ..... 名古屋市立大学理事・副学長 伊藤恭彦氏
- 環境白書について ..... 環境省 大臣官房総合政策課 環境計画室
- 循環型社会白書について ..... 環境省 環境再生・資源循環局 循環型社会推進室
- 生物多様性白書について ..... 環境省 自然環境局 自然環境計画課
- 質疑応答

参加申込方法

\* zoom 参加はこちら ▶  \* YouTube 視聴はこちら ▶ 

zoom の参加登録フォームへ  
<https://zoom.us/join/qr?qr=970300d38f0c397f9320>  
登録すると @zoom.us または @wpo-ctchu.jp アドレスから招待メールが届きます。

YouTube の視聴登録フォームへ  
<https://www.youtube.com/watch?v=7T01LPE>  
申込をすると、YouTube 視聴のためのご案内 PDF が表示されます。

主催:環境省中部地方環境事務所

一般向けのチラシ

参加無料

令和7年版  
環境白書を読む会

環境白書 24.23

令和7年版環境白書ダウンロード  
<https://www.env.go.jp/policy/whb24/>

環境省地方事務所と  
持続可能な地域を考える  
～環境白書を手がかりに～

日時 10月22日(水) 16:20-18:00

会場 名古屋市立大学 滝子キャンパス1号館 309教室

プログラム

第1部 環境白書を読む

- 挨拶 ..... 名古屋市立大学理事・副学長 伊藤恭彦氏
- 環境白書について ..... 環境省 大臣官房総合政策課 環境計画室
- 循環型社会白書について ..... 環境省 環境再生・資源循環局 循環型社会推進室
- 生物多様性白書について ..... 環境省 自然環境局 自然環境計画課
- 質疑応答

第2部 環境省の地方環境行政

- 自然資本が持つ価値について考える
- 地方環境事務所はどんなことをしているのか
- 少しだけ質疑: 自然資本の蓄積のために行政ができること

主催:環境省中部地方環境事務所

大学向けのチラシ

# 独自プログラムの作成・活用

# 活動評価手法の検討

有識者によるワーキンググループにより、地域循環共生圏づくりの活動の評価手法を検討する

古澤礼太 中部大学国際ESD・SDGsセンター准教授、中部ESD拠点協議会事務局長

水上聡子 EPO中部運営委員、アルマス・バイオコスモス研究所代表

堺 勇人 EPO中部運営委員、一般社団法人 環境市民プラットフォームとやま（PECとやま）事務局長

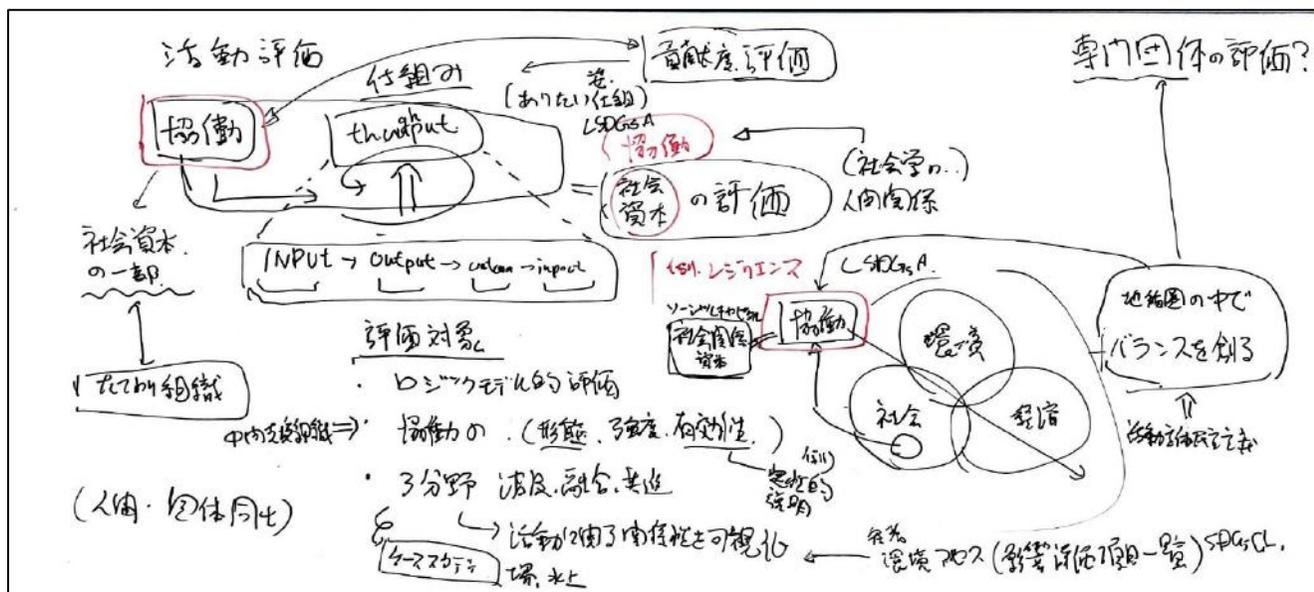
原 理史 中部地方ESD活動支援センター、中部大学国際ESD/SDGsセンター研究員

【オブザーバー】 環境省 中部地方環境事務所環境対策課

【事務局】 清本三郎 中部環境パートナーシップオフィス（EPO中部） 統括

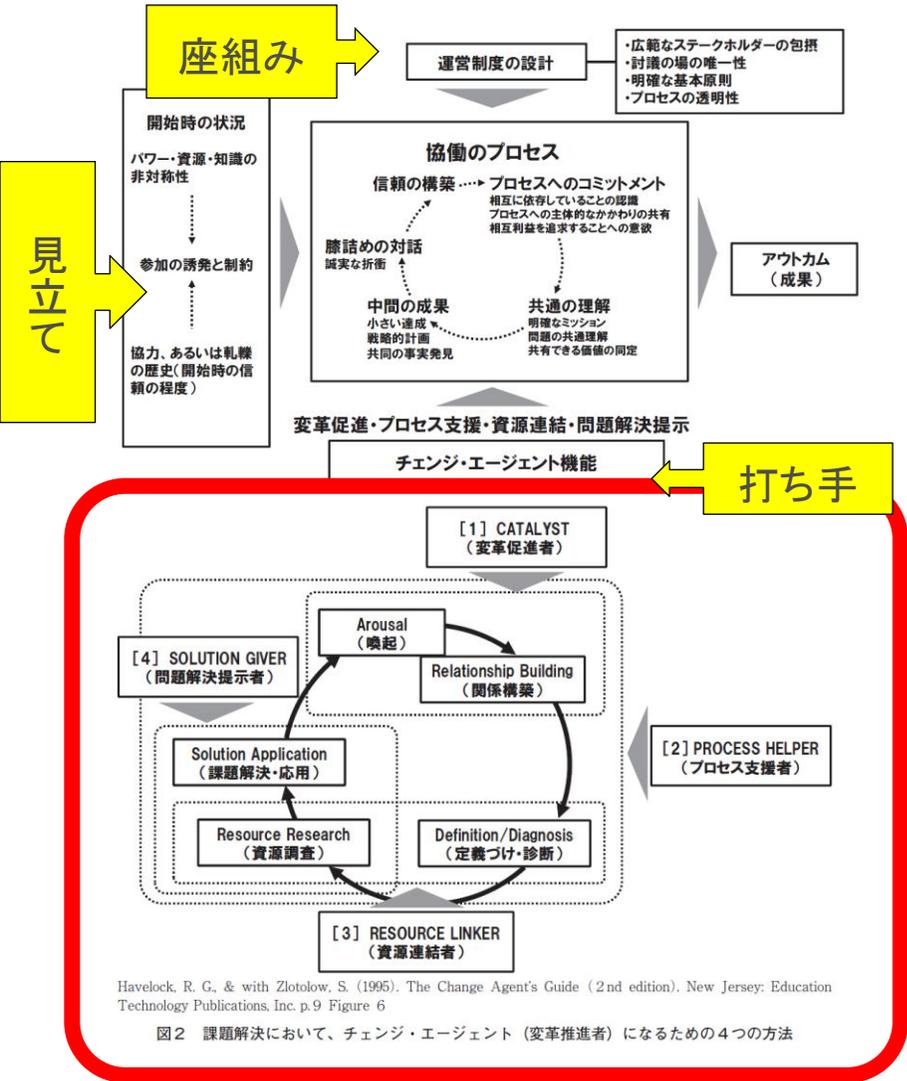
富山	6月5日	第1回検討会
名古屋	9月18日	第2回検討会
福井	11月12日	第3回検討会

## 検討会での議論の例



# 中間支援組織の機能評価リストの提案 「打ち手」のチェック【インプット評価】

「協働ガバナンスモデル」を用いて、対象プロジェクト推進時の協働プロセスにおいて、活動団体のプラットフォームに対して「打ち手」として「チェンジエージェント機能」が発揮できているかの評価を検討



支援分野	内容例	チェンジエージェント機能	
喚起	情報発信、普及啓発、相談、助言等によるやる気等「喚起」の支援ができていますか	変革促進	プロセス支援
関係構築	交流やマッチングなどによる「関係構築」の支援ができていますか		
定義づけ・診断	活動内容や状況进行评估することによる「定義づけ・診断」の支援ができていますか	資源連結	問題解決提示
資源調査	ヒアリング、WS、相談、助言等により「人もの金こと」等の「資源調査」の支援ができていますか		
課題解決・応用	WS、相談、助言等による「問題解決・応用」の支援ができていますか		

Havelock, R. G., & with Zlotolow, S. (1995). The Change Agent's Guide (2nd edition). New Jersey: Education Technology Publications, Inc. p.9 Figure 6

図2 課題解決において、チェンジ・エージェント(変革推進者)になるための4つの方法

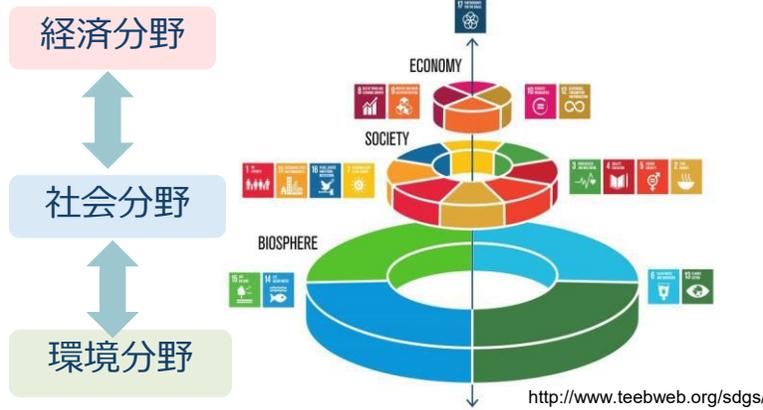
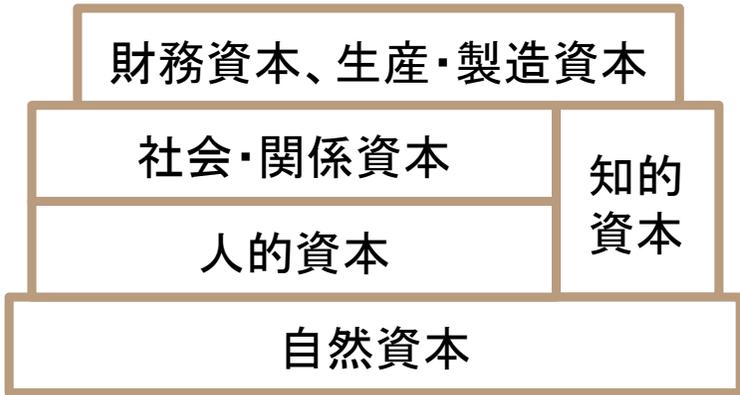
出典:企業・行政・NPO間の協働における中間支援組織の役割と機能 -川崎市産業・環境創造リエゾンセンターを事例として-(島岡、佐藤:2014)

# 地域循環共生圏に貢献するローカルSDGs活動評価手法の検討：波及と実践

基本となる価値基準：ローカルSDGs活動の効果が環境，社会，経済の各分野に波及し，それにより，環境，社会，経済のそれぞれに関わる分野の資本が蓄積されること

- 崩れない資本のバランスが持続可能性と強靱性にとって重要

## 六つの資本の積み木



六つの資本：IIRCオクトパスモデル(事業による六つの資本の増加)による

- ・財務資本
- ・製造資本
- ・知的資本
- ・人的資本
- ・社会・関係資本
- ・自然資本

- その取組は地域循環共生圏に貢献する資本増加に繋がるのか、チェックリスト例

六つの資本	評価項目の例
1 財務資本(地域循環 財務資本)地域内での経済循環になっているか	●地域にお金を落とす ●地域への投資
2 製造資本(地域循環 生産・製造資本)地域資源・エネルギーが持続可能な形で使えるようになっているか	●地産地消 ●資源循環 ●再生可能エネルギー ●防災・減災
3 知的資本(地域共生 知的資本)：地域の文化、知恵などが生かされているのか、水準の高い知見が用いられているか	●教育 ●住民自治 ●伝統的文化・知恵 ●高等知見 ●ICT活用
4 人的資本(地域共生 人的資本)：地域の多様な人々が共生できているか	●主体的・意欲的な人 ●愛着・誇り・責任感のある人 ●包摂社会
5 社会・関係資本(地域共生 社会関係資本)：地域の繋がりが・コミュニティづくりにつながっているか	●対話型の議論・交流 ●相互信頼 ●公正 ●共助
6 自然資本(地域循環共生 自然資本)：地域の自然・生物多様性が守られているか	●生物多様性 ●グリーンインフラ・景観の向上 ●脱炭素 ●自然資源 ●農地・漁場の持続可能な利用

査読付論文(論説・報告)採択 日本環境共生学会「環境共生」第42巻(2026)第1号に掲載予定

## 地域循環共生圏の活動を評価する枠組みの検討

Consideration of a framework for evaluating the activities of the Regional Circular and Ecological Sphere

一般社団法人環境創造研究センター 原理史  
 中部大学 中部高等学術研究所 古澤 礼太  
 アルマス・バイオコスモス研究所 水上 聡子  
 一般社団法人 環境市民プラットフォームとやま 堺 勇人

# ローカルSDGs活動に関する評価チェックリストの試行(H7年度)

## JICA研修への海外参加者に依頼して環境関係の取組について記入した事例

EPO中部に依頼のあった講演1時間の中で「地域循環共生圏と中間支援」についてで説明した後に参加者6人にチェックリスト記入を依頼。3人より記入結果を受領。

JICA北陸 2025年度課題別研修  
「持続可能な自然資源管理による生物多様性保全と地域振興-SATOYAMA イニシアティブの推進」  
2025年10月24日

演題: 地域循環共生圏づくりへの中間支援組織の役割  
講師: 環境省中部環境パートナーシップオフィス(EPO中部)原 理史



Checklist (Form) Does the initiative contribute to increasing capital that contributes to a Regional Circulating and Ecological Sphere?			
Name	Community Based Forest Parks	Overview	Forest Parks established on Communal Natural Resources to protect the Natural Resources, create cooperation initiatives and also to create an eco-tourism business for the community to generate income, promote employment that leads to improving the standard of living and elevating poverty.
1 Financial Capital (Regional circulation Financial capital) Is it contributing to economic circulation within the region?	<ul style="list-style-type: none"> <li>● Is money being spent in the local area?</li> <li>● Is it considered an investment in the local area?</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● Is it aiming for local production for local consumption?</li> <li>● Is it aiming for resource circulation?</li> <li>● Are local resources and energy being used in a sustainable way?</li> </ul>	<p>Reason for the decision regarding the check:</p> <p>The money from the government budget is utilized to establish such community based Forest Parks.</p> <p>It is an investment in terms of ecological benefits for the Government to increase conservation areas whereas have economic, ecological and social benefits for the resource users.</p> <p>Techniques used to address the SDGs and promote conservation.</p>
2 Manufacturing Capital (Regional circulation Production and manufacturing capital) Are local resources and energy being used in a sustainable way?	<ul style="list-style-type: none"> <li>● Is there an effort to promote education in various settings?</li> <li>● Is there an attempt to incorporate local culture and wisdom, and does it utilize high-level expertise?</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● Is it aiming for disaster prevention and mitigation?</li> <li>● Is it aiming for resource circulation?</li> <li>● Is it aiming for disaster prevention and mitigation?</li> <li>● Is it aiming for resource circulation?</li> <li>● Are you trying to promote the use of ICT?</li> </ul>	<p>Assesses and educational programs in schools are organized and also the Forest awareness are into the education curriculum. Also, seminars are having courses concerning Forest, biodiversity and climate change.</p> <p>Yes, communities are actively participating in decision making and running of programs</p> <p>Traditions are well respected in Fiji and all cultural aspects are recognized in conducting an operation.</p> <p>Usage of electronic devices to conduct inventory and social media platforms.</p> <p>In all projects to ease the pressure and also to have better recording and feedback.</p>
3 Intellectual Capital (Regional coherence Intellectual capital) Does it incorporate local culture and wisdom, and does it utilize high-level expertise?	<ul style="list-style-type: none"> <li>● Are there people who are proactive and motivated?</li> <li>● Are there people who have a sense of attachment, pride, and responsibility?</li> <li>● Are you aiming for an inclusive society?</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● Are there people who are proactive and motivated?</li> <li>● Are there people who have a sense of attachment, pride, and responsibility?</li> <li>● Are you aiming for an inclusive society?</li> </ul>	<p>People know their responsibilities and are energized with these projects</p> <p>People are very passionate about the unique natural resources we have</p> <p>This idea thrives if societies are thinking alike and working towards the same goal</p>
4 Human Capital (Regional coherence Human Capital) A diverse community of people is living together in harmony.	<ul style="list-style-type: none"> <li>● Is it aiming to foster interaction, dialogue and exchange?</li> <li>● Are you trying to foster mutual trust?</li> <li>● Are you trying to foster mutual support?</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● Is it aiming to foster interaction, dialogue and exchange?</li> <li>● Are you trying to foster mutual trust?</li> <li>● Are you trying to foster mutual support?</li> </ul>	<p>Mostly</p> <p>So that projects are successful and people are accepting the culture</p> <p>Equal rights are practiced</p> <p>Many collaborators are engaged</p>
5 Social and Relationship Capital (Regional coherence Social capital) Is it contributing to building community ties and community building?	<ul style="list-style-type: none"> <li>● Is it aiming to foster interaction, dialogue and exchange?</li> <li>● Are you trying to foster mutual trust?</li> <li>● Are you trying to foster mutual support?</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● Is it aiming to foster interaction, dialogue and exchange?</li> <li>● Are you trying to foster mutual trust?</li> <li>● Are you trying to foster mutual support?</li> </ul>	<p>Conservation is a priority</p> <p>We are striving towards achieving 17% protected area by 2030</p> <p>Through standing Forests and conservation areas.</p> <p>Sustainability is the way</p> <p>Law enforcement, proper monitoring and awareness are the major contributors</p>
6 Natural Capital (Regional circulating and ecological capital) Is the region's natural environment and biodiversity being preserved?	<ul style="list-style-type: none"> <li>● Is it aiming to foster interaction, dialogue and exchange?</li> <li>● Are you trying to foster mutual trust?</li> <li>● Are you trying to foster mutual support?</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● Is it aiming to foster interaction, dialogue and exchange?</li> <li>● Are you trying to foster mutual trust?</li> <li>● Are you trying to foster mutual support?</li> </ul>	<p>Conservation is a priority</p> <p>We are striving towards achieving 17% protected area by 2030</p> <p>Through standing Forests and conservation areas.</p> <p>Sustainability is the way</p> <p>Law enforcement, proper monitoring and awareness are the major contributors</p>
Comprehensive Evaluation of Local SDGs Activities			
Yes, the Ministry of Epsraya is trying to work on all the SDGs associated to them through proper planning, proper organizing, excellent execution and better monitoring and evaluation.			

Comments:  
This form is really good in reflecting certain projects and programs. It provides a lot of information in summarised form that is very good for understanding the project objectives and other related pros and cons.

## Mr.Sonu (Community Based Forest Parks) の記入事例: フィジー

Comments:  
This form is really good in reflecting certain projects and programs. It provides a lot of information in summarised form that is very good for understanding the project objectives and other related pros and cons. Excellent technique. Will try to organise similar forms back home for reflection and understanding.

コメント  
この様式は、各プロジェクトやプログラムを要領よく整理し、目的・成果・課題を理解するうえで非常に有効である。同様の様式を自国でも導入し、振り返りと学びに活用したい。

# ローカルSDGs活動に関する評価チェックリストの活用とフィードバック

## 3件の事例について分析、SDGs学生サミットで活用

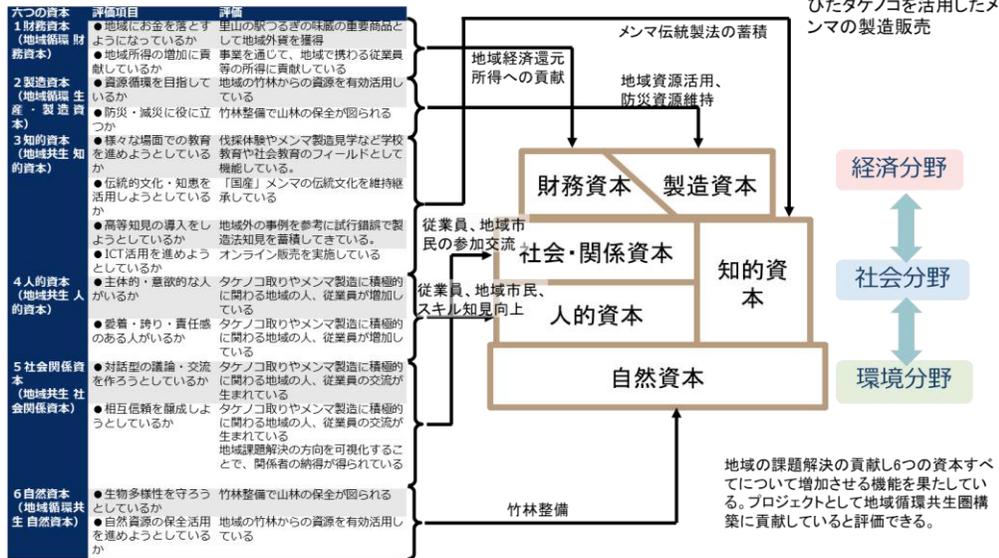
### 富山県上市町 里山の駅つるぎの味蔵の純国産メンマプロジェクト

### 愛知県岡崎市 「QURUWA戦略」自治会の連合体が支える公民連携まちづくり

### 福井県小浜市 若狭コロビプロジェクト

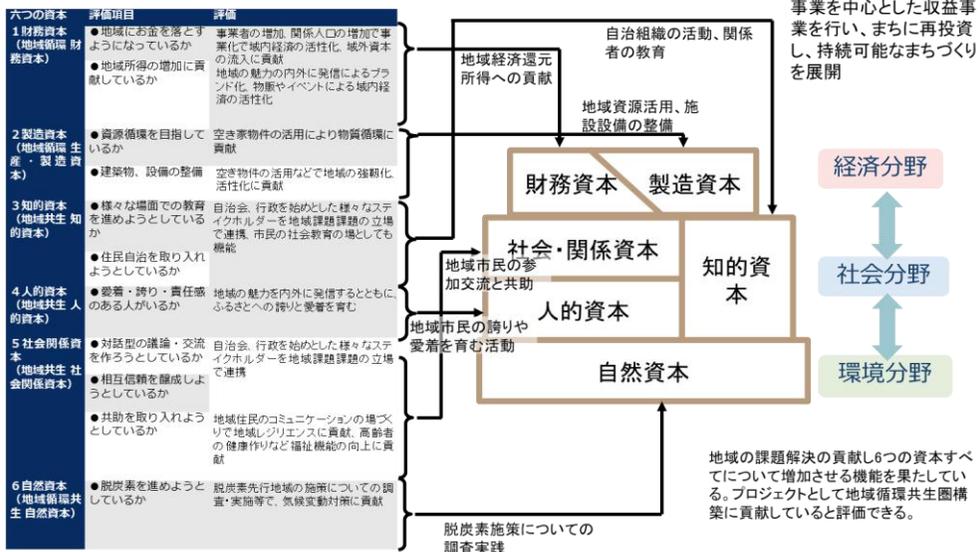
### 富山県上市町 里山の駅つるぎの味蔵の純国産メンマプロジェクト

竹林整備で発生した伸びたタケノコを活用したメンマの製造販売



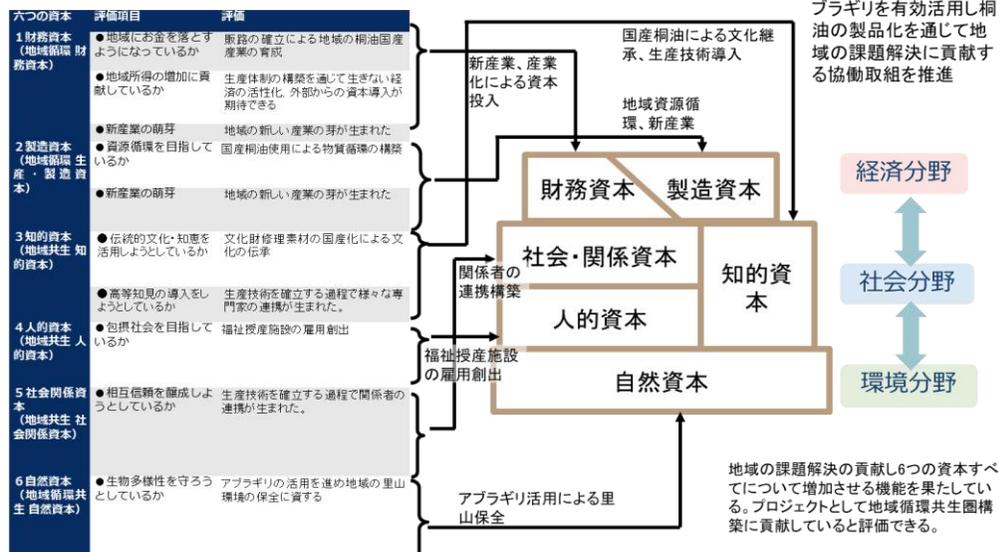
### 愛知県岡崎市「QURUWA戦略」自治会の連合体が支える公民連携まちづくり

地域の課題解決と自主事業を中心とした収益事業を行い、まちに再投資し、持続可能なまちづくりを展開



### 福井県小浜市 若狭コロビプロジェクト

厄介モノとなっているアブラギリを有効活用し桐油の製品化を通じて地域の課題解決に貢献する協働取組を推進



その他

# 相談対応（インターン協力依頼への対応）と共生圏事業との連携

## 高校生インターンが 共生圏事業の半田市の取組を取材

- 2023年度から私立高校のインターンシップ・プログラムに協力。今年度も高校1年生3人のインターン生を受け入れ。
- 学生たちは、共生圏事業の採択団体・半田市地域循環共生圏推進協議会とその関連施設を取材し、紹介記事を作成。
- 堅い表現になりがちな協議会の取組に対し、高校生目線での表現による作成記事を半田側へも提供。
- インターン生作成の取材記事は、ウェブサイトで公開中である。

➤ <https://www.epo-chubu.jp/epo-news/31986.html>



### 地域循環共生圏について学んで

～バイオぐるファクトリーHANDAの取り組み～

南山高校女子部1年  
S.A.

環境省EPO中部へのインターンシップにて  
(2025年8月26日～28日)

### バイオぐるファクトリーで 学ぶ地域循環共生圏

南山高校女子部1年  
後藤美結

環境省EPO中部へのインターンシップにて  
(2025年8月26日～28日)

### 知多半田市を取材して

南山高校女子部1年  
森 美乃

環境省EPO中部へのインターンシップにて  
(2025年8月26日～28日)

# 外部資金を活用した事業

## 環境を軸とした地域課題解決に向けた戦略検討等に係る業務／全国ユース環境活動発表大会の支援

※ (独)環境保全機構との連携業務 <https://www.erca.go.jp/>

- 環境を軸とした地域課題解決に向けた戦略検討等に係る業務ヒアリングとして、11月11日に石川県珠洲市でNPO・自治体等を対象にしたグループヒアリングを実施。ヒアリング結果報告書を作成、提出。
- 11月29日に開催された環境保全機構主催の全国ユース環境活動発表大会に出席。また、大会審査員のEPO推薦枠として環境カウンセラー・浅野氏を推薦。

## 愛知県環境学習コーディネート業務

※ 愛知県からの受託業務

<https://www.pref.aichi.jp/soshiki/kankyokatsudo/0000060443.html>

- 環境学習に関する学校等からの相談・照会依頼に対し、相談業務5件、コーディネート業務10件を実施。

